

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	591005	事務事業名	地域保健医療推進事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会、大学等と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【病院等の医療体制の充実】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 地域医療を確保するために、徳山医師会病院の経営の安定化を図る。	事業の内容 (手段)	徳山医師会病院の本館建替えに係る建設費の一部、及び(独)福祉医療機構から借受けた建設資金の利子相当額を補助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○徳山医師会病院の建設費補助については、申請書類を審査した上、適正な額を補助した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	28,585	28,645	28,030	27,684		31,188						
事業目標	目標名	地域保健医療推進事業の経費	計算式	地域保健医療推進事業の経費	単位	千円	(予算額)	うち一財	千円	28,585	28,645	28,030	27,684	31,188
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	28,330	28,578		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	25,380.0	28,585.0	28,645.0	28,030.0	27,638.0	(決算額)	うち一財	千円	28,330	28,578		借り受けた建設資金の利率が変更になるため	
	実績値	23,864.0	28,330.0	28,578.0			正職員人件費	千円	2,198	1,479				
	達成度(%)	94.0%	99.1%	99.8%			人工数	人	0.30	0.20	0.95			
							支出コスト	千円	決) 30,528	決見) 30,057				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		地域医療提供事業の事務 (ソフト事業)	周南市民	医療提供体制を充実させること	医療対策業務の実施	医療提供体制の維持・充実に資する業務の実施	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.2		28,578	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 補助金が適正であるか、毎年、精査することが必要である。				B	改善案	徳山医師会病院建設費補助金の適正な事務の遂行にあたり、徳山医師会から必要な資料を提出させ、精査し補助する。					
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
		徳山医師会活動に対する補助については、従来はコンサルタント活動補助及び看護師養成補助を行ってきたが、平成17年度からは看護師養成補助へ一本化した。経営改善が図られたため、平成22年度で終了したが、平成24年度からは徳山医師会病院建設費補助が始まった。補助事業については、地域医療の充実に対応する立場で検討する。	徳山医師会病院建設費補助金の適正な事務の遂行にあたり、徳山医師会から必要な資料を提出させ、精査し補助する。
	細事業の課題・問題点	事業全体の課題・問題点	定期的な業務の適正な遂行、並びに徳山医師会病院建設費補助金の適正な事務の遂行。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			徳山医師会病院建設費補助金の適正な事務の遂行のためには、毎年度、徳山医師会の経営状況等を精査する必要がある。	徳山医師会病院建設費補助金の事務の遂行にあたり、徳山医師会から必要な資料を提出させ、精査し補助する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	徳山医師会病院建設費補助金の適正な事務の遂行にあたり、徳山医師会から必要な資料を提出させ、精査し補助する。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	591008	事務事業名	診療所管理運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会、大学等と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【病院等の医療体制の充実】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地理的条件が悪く、高齢化が進む地域の住民	意図(どういう状態にしたい): 地理的条件が悪く、高齢化が進む地域(中須・須金・大向・大道理・大津島・八代地域)において、安心して医療サービスを受けることができる。	事業の内容 (手段)	地理的条件が悪く、高齢化が進む地域の医療を確保するために、市が設置した診療所の管理及び運営を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	直営及び医師会、市民病院の協力を得て、7カ所の診療所で医療サービスを提供し、地域医療の確保が図れた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	62,202	60,967	51,198	49,274
							(予算額) うち一財	千円	38,029	37,295	30,355	36,833	31,000	
事業目標	目標名	診療所数	計算式	診療所数	単位	箇所	直接事業費	千円	57,548	48,813		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	34,594	32,538		診療所収入及び医薬材料費について、実績により予算額の見直しを行った。		
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	正職員人件費	千円	5,128	6,064				
	実績値	7.0	7.0	7.0			人工数	人	0.70	0.82	0.95			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 62,676	決見) 54,877				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		地域診療所の管理・運営 (施設等管理運営事業)	地域住民	だれもが住み慣れた地域で安心して医療サービスが受けられるように、診療所を運営する。	地域医療体制の維持確保	各診療所において、医療の提供が継続できるように努めた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.7	0.26	28,277	否	否		
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 高齢化、人口減が進み、通院困難者も増え、受診者の減少が予想され、診療収入の増が見込めない。				B	改善案	現体制に加えて、巡回診療など新たな医療体制について検討する。					
	②		離島等診療所運営費補助金の交付事務 (施設等管理運営事業)	大津島保健組合	大津島診療所・須金歯科診療所を運営する大津島保健組合への補助金事務。	大津島の医療体制を維持するため、大津島保健組合を支え、医療を確保する。	診療所において、医療の提供が継続できるように努めた。	0.12	0	20,536	否	否		
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 大津島は、高齢化、人口減が進み、通院困難者も増え、受診者の減少が予想され、診療収入の増が見込めない。				B	改善案	大津島保健組合、徳山中央病院と連携し、収入確保に努めながら医療体制を確保する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	○人口の減少、高齢化 ○施設・設備の老朽化 ○中須診療所・須金診療所は、平成23年1月、診療所医師の急逝により、少しでも早く地域の医療を確保するため、直営化して再開した。 ○大津島診療所は、平成26年3月末で嘱託医師が退職し、4月から徳山中央病院から医師を派遣	前年度までの指摘事項	大津島における診療体制については、離島であることから島民の安心安全確保のための、最適な医療体制を検討すること。 熊北診療所は受診率が高いのに、診療日数が少ない。	指摘事項に対する改善状況	大津島診療所の診療体制について、徳山中央病院等と協議し、検診も受けられる体制を整えた。
	細事業の課題・問題点	○受診者の減少・高齢化 ○施設・設備の老朽化による施設の整備 ○医師の確保	事業全体の課題・問題点	○受診者の減少・高齢化 ○施設・設備の老朽化による施設の整備 ○医師の確保		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	中山間地域等においては、高齢化、人口減少により受診者数は減少しているが、医療確保は市の責務でもあり、医療提供は続けていく必要がある。	改善案	中山間地域、離島における医療提供体制は継続しながら、最適な医療体制を検討し、年次的に体制づくりを進める。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	中山間地域等においては、高齢化、人口減少により受診者数は減少しているが、医療提供体制の確保は市の責務でもあり、続けていく必要がある。また、大津島における診療体制については、離島であることから島民の安心安全確保のための、最適な医療体制を検討すること。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など) 人口減少等の理由により受診者数が減少しているため、診療料等の歳入が減っているが、医薬材料費の削減等歳出の見直しを行い、当初予算額は前年度より減となった。	
---	--

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	591090	事務事業名	地域医療対策事業費	事業の分類	(ソフト事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会、大学等と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【病院等の医療体制の充実】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 市内の指定医療機関で勤務し、周南市の地域医療に貢献する意志のある医学生	意図(どういう状態にしたい): 住み慣れた地域で誰もが安心して健やかに生活できるよう、地域医療の充実を実現するため、市内の指定医療機関で勤務する医師を確保する。	事業の内容 (手段)		将来、市内の指定医療機関で医師として従事しようとする者に対して、大学での修学及び入学に必要な資金の貸し付けをする。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	新たに1人、医師確保奨学金の貸し付けを開始した。 奨学生2人が大学を卒業し、市内の指定医療機関で臨床研修を開始した。													直接事業費
事業目標	目標名	指定医療機関に従事する医師数	計算式	指定医療機関に従事する医師数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	15,621	13,220	13,220	9,617	13,220
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	14,708	12,017		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値			2.0	3.0	4.0	(決算額)	うち一財	千円	14,708	12,017		平成28年度は新規貸付は行わな いこととした。	
	実績値			2.0			正職員人件費	千円	952	1,109	0.20			
	達成度(%)			100.0%			人工数	人	0.13	0.15				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	医師確保奨学金貸付者の募集・選考 (ソフト事業)	奨学金貸付医学生	医師確保奨学金貸付制度の趣旨に沿う医学生に資金の貸し付けを行うこと	医師確保奨学金貸付制度の趣旨に沿う医学生に資金の貸し付けを行う。	新たに1人貸し付けを行った。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
		医学生が卒業後、医師として指定医療機関で地域医療に従事した後、周南市に留まり地域医療の充実に寄与できるか不確定。					B	改善案	臨床研修中の2人が27年度で研修を終了し、平成28年度から医師として従事することとなるため、この2人が、将来、市の指定医療機関で従事できるよう、奨学生の意向を確認しながら、大学、医療機関等と協議する。					
②	貸付者への奨学金の支払事務 (ソフト事業)	奨学金貸付医学生	医学生に奨学金を貸し付ける。	5人の医学生に貸し付けを行う。	5人の医学生に奨学金を貸し付けた。	0.05		12,000	否	否				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	医学生が卒業後、医師として指定医療機関で地域医療に従事した後、周南市に留まり地域医療の充実に寄与できるか不確定。					B	改善案	臨床研修中の2人が27年度で研修を終了し、平成28年度から医師として従事することとなるため、この2人が、将来、市の指定医療機関で従事できるよう、奨学生の意向を確認しながら、大学、医療機関等と協議する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	中山間地の公設診療所において、医師の急逝により、一時的に診療所を閉じることもあった。地域の医師の高齢化もあり、地域の医療を確保するためには、医師の確保が必要。	前年度までの指摘事項	6名の奨学生が平成26年度以降毎年卒業する見込みの事業に育った。これからの取り組みがより重要となることを認識し、今後は支給終了後のインターンや山口大学の医局との連携強化、情報交換等のバックアップ体制が重要となることから、施策の幅を広げる必要がある。	指摘事項に対する改善状況	医師確保に有効となるような方策を検討するために、関係医療機関等と連携し、奨学生の意向等の聞き取りを行った。
	細事業の課題・問題点	医師確保奨学金貸付制度を医学生並びに医学生の保護者に対して、広く周知できるような工夫を講じること。	事業全体の課題・問題点	奨学生への医師として周南市で医療に従事しようとする意識の醸成。平成26年3月に2人、平成27年3月に1人が卒業し、現在、臨床研修中であるが、指定医療機関での勤務実績が無いことから、事業の評価ができていない。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	平成26年3月に2人、平成27年3月に1人が卒業し、現在、臨床研修中であるが、指定医療機関での勤務実績が無いことから、事業の評価ができない。	改善案	臨床研修中の2人が27年度で研修を終了し、平成28年度から医師として従事することとなるため、この2人が、将来、市の指定医療機関で従事できるよう、奨学生の意向を確認しながら、大学、医療機関等と協議する。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	平成26年3月、初めて貸付者2名が卒業し、医師免許を取得し臨床研修を行っている。その状況もみながら、指定医療機関、大学等と連携し、卒業生が医師として地域医療に従事できる仕組みづくりを進めること。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
制度の見直しを図るため、平成28年度は新規貸付は行わないこととし、前年度より事業予算額は減額となった。

備考

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	591090	事務事業名	地域の元気臨時交付金事業費 (地域医療施設整備事業)	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1) 地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会、大学等と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【病院等の医療体制の充実】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 地域住民	意図(どういう状態にしたい): 地理的条件が悪く、高齢化が進む地域において、安心して医療サービスを受けることができる。	事業の内容 (手段)	地理的条件が悪く、高齢化が進む地域の医療を確保するために、市が設置した診療所の施設整備を行う。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	○熊北診療所の、X線一般撮影装置の整備 ○須金診療所のバリアフリー改修工事													
事業目標	目標名	整備件数	計算式	整備件数	単位	件	事業費	直接事業費	千円		14,631			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円		2,231			
	目標値			2.0				直接事業費	千円		12,452		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値			2.0				(決算額) うち一財	千円		2,452			
	達成度(%)			100.0%				正職員人件費	千円	0	961			
						人工数	人			0.13				
						支出コスト	千円	決) 0	決見) 13,413					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	備品購入等事務 (施設等整備事業)	地域住民	だれもが住み慣れた地域で安心して医療サービスが受けられるように、診療所を整備する。	地域医療体制の維持確保	熊北診療所の、X線一般撮影装置の整備、須金診療所のバリアフリー改修工事	正職員 0.13 臨時等	直接事業費 12,452	委託 否	臨時嘱託 否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価	医療提供は継続しながら、最適な体制を検討し、体制づくりを進める。						
	②													
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価	改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	○人口の減少、高齢化 ○施設・設備の老朽化 ○須金診療所は、平成23年1月、診療所医師の急逝により、少しでも早く地域の医療を確保するため、直営化して再開した。	
	○受診者の減少・高齢化 ○施設・設備の老朽化による施設の整備 ○医師の確保	事業全体の課題・問題点	○受診者の減少・高齢化 ○施設・設備の老朽化による施設の整備 ○医師の確保

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	中山間地域においては、高齢化、人口減少により受診者数は減少しているが、医療確保は市の責務でもあり、医療提供は続けていく必要がある。
			改善案	医療提供は継続しながら、最適な体制を検討し、体制づくりを進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 中山間地域においては、高齢化、人口減少により受診者数は減少しているが、医療確保は市の責務でもあり、医療提供は続けていく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	592005	事務事業名	休日夜間急病診療所運営事業費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 救急医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	応急的な初期救急医療対策(一次救急医療)としての休日夜間急病診療所や在宅当番医制による休日診療の確保に努めるとともに、休日歯科診療業務を実施します。			25年度市民評価の満足度	
		【病院等の医療体制の充実】	50.20%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 休日及び夜間における応急診療を必要とする者	意図(どういう状態にしたい): 休日(年末年始を含む。)及び夜間における急病に際し、安心して応急的な初期救急医療(一次救急医療)を受けることができる。	事業の内容 (手段)	休日や夜間において、応急的な初期救急医療(一次救急医療)を担う休日夜間急病診療所の管理及び運営をする。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	初期救急医療が受けられる体制の確保はできた。								直接事業費	千円	84,436	83,409	86,290	86,138
事業目標	目標名	開設日数	計算式	開設日数	単位	日		(予算額) うち一財	千円	35,804	35,025	32,553	31,825	32,553
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	84,781	88,191		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	365.0	365.0	365.0	366.0	365.0		(決算額) うち一財	千円	28,933	24,211			
	実績値	365.0	365.0	365.0				正職員人件費	千円	3,663	3,698			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.50	0.50	0.65		
								支出コスト	千円	決) 88,444	決見) 91,889			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 休日夜間急病診療所の管理・運営 (施設等管理運営事業)		休日、夜間において応急的な診療を必要とする者	休日や夜間において急な体調不良時の初期の救急医療が受けられる体制の確保。	休日(年末年始を含む。)及び夜間における急病に際し、安心して応急的な初期救急医療(一次救急医療)を受けることができる。	休日夜間急病診療所の運営により、初期救急医療体制の確保ができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価											
	②		○施設の老朽化による、待合室等の雨漏り、給排水管からの漏水・つまり等が発生しており、診療に支障を生じることがある。 ○運営面では、担当医師の確保。(高齢化、外科医師の不足)、交通アクセスが悪く。所在地がわかりづらい。											
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他												
		改善案												

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	昭和54年に旧徳山市が設置、2市1町で協議会により運営していたが、平成18年度から周南市の直営となった。平成20年12月より小児科を徳山中央病院(周南地域休日・夜間こども急病センター)へ移設し、内科、外科の2科となる。	前年度までの指摘事項	機能移設については、引き続き、関係医療機関と連携、調整を図る。	指摘事項に対する改善状況	休日夜間急病診療所の機能移設については関係機関において協議を継続中。
	細事業の課題・問題点	<input type="checkbox"/> 施設の老朽化による、待合室等の雨漏り、給排水管からの漏水・つまり等が発生しており、診療に支障を生じることがある。 <input type="checkbox"/> 担当医師の確保が厳しい。(高齢化、外科医師の不足) <input type="checkbox"/> 休日夜間急病診療所までの交通アクセスが悪く、所在地もわかりづらい。	事業全体の課題・問題点	<input type="checkbox"/> 施設の老朽化による、待合室等の雨漏り、給排水管からの漏水・つまり等が発生しており、診療に支障を生じることがある。 <input type="checkbox"/> 担当医師の確保が厳しい。(高齢化、外科医師の不足) <input type="checkbox"/> 休日夜間急病診療所までの交通アクセスが悪く、所在地もわかりづらい。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	休日・夜間の救急患者に備えた初期救急医療体制は市民にとって必要である。施設の老朽化等による機能移転について、協議を続ける。	改善案	機能移設について、関係医療機関の間で引き続き協議する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 休日・夜間の救急患者に備えた初期救急医療体制は市民にとって必要である。施設の老朽化等による機能移転について、関係医療機関との協議を引き続き行う。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500502
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(2)救急医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部 地域医療課 地域医療担当	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	592011	事務事業名	救急医療対策事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民のだれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(2) 救急医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】 40.90%	
	推進施策の展開	応急的な初期救急医療対策(一次救急医療)としての休日夜間急病診療所や在宅当番医制による休日診療の確保に努めるとともに、休日歯科診療業務を実施します。重症患者を対象とした二次救急医療対策として、病院群輪番制による休日・夜間における救急診療を行う病院は、辞退により減少傾向にあるため、その支援を継続し、病院数の維持に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【病院等の医療体制の充実】 50.20%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 救急診療を必要とする者	意図(どういう状態にしたい): 休日における急病(歯科・産婦人科・熊毛地域の内科等)に際し、安心して応急的な初期救急医療(一次救急医療)を受けることができる。 病院群輪番制病院を支援することにより、休日及び夜間における重症患者に対する医療(二次救急医療)を安心して受けることができる。	事業の内容 (手段)	○休日歯科診療所の運営を委託する。 ○産婦人科休日日在宅当番医及び熊毛地域休日日在宅当番医の運営を委託する。 ○休日及び夜間における二次救急医療を行う病院群輪番制病院の運営費の一部を補助する。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	市民が安心して暮らせるために必要な休日や夜間の救急医療体制を維持することができた。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	63,975	57,466	49,195	50,243
								(予算額) うち一財	千円	39,163	36,550	32,952	34,024	32,952
事業目標	目標名	延診療日数	計算式	延診療日数	単位	日	事業費	直接事業費	千円	56,740	48,113		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	37,225	32,409		休日歯科診療所委託料が増加したため。	
	目標値	576.0	573.0	567.0	568.0	568.0		正職員人件費	千円	5,714	5,177	0.50		
	実績値	576.0	572.0	565.0				人工数	人	0.78	0.70			
	達成度(%)	100.0%	99.8%	99.6%				支出コスト	千円	決) 62,454	決見) 53,290			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		休日歯科診療所運営事業の委託 (経常的事務事業)	休日において応急的な診療が必要な者	歯科の休日診療体制を確保する。	休日歯科診療所の運営を徳山歯科医師会に委託することで、休日診療体制を確保する。	休日歯科診療所の運営を委託することにより、歯科の休日診療体制を確保できた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
								0.15		3,355	可	否		
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他 設備が老朽化するなど設備維持のための費用が必要となる。周南市民の利用は全体の約7割、その他は近隣市の市民の受診であることから、周南地域の救急医療体制を充実させるため、近隣市と費用負担等を含め運営体制の維持、確保について協議をしていく。				B	改善案	周南地域の救急医療体制を充実させるため近隣市と費用負担等を含め運営体制の維持、確保について協議をしていく。					
②		在宅当番・救急医療情報提供実施事業の委託 (経常的事務事業)	休日において産婦人科の診療を必要とする者	産婦人科の休日診療体制の確保。AED普及・啓発。	在宅当番医事業(産婦人科)の実施により、休日に安心して初期救急医療を受けることができる体制を確保する。AEDの周知を図る。	在宅当番医事業(産婦人科)の実施による初期救急医療体制の確保及びAEDの使い方等の周知ができた	0.1		5,589	可	否			
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他				A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③	熊毛地域休日急病診療業務の委託 (経常的事務事業)	休日において応急的な診療が必要な者(特に熊毛地域)	熊毛地域の休日における初期救急医療体制の確保。	在宅当番医事業(熊毛地域)の実施により、休日に安心して応急的な初期救急医療を受けることができる体制を確保する。	在宅当番医事業(熊毛地域)の実施により、初期救急医療体制の確保ができた。		0.1		3,219	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成23年度評価において、休日夜間急病診療所の移設と合わせて制度の見直しを図るよう指摘があった。				B	改善案	平成23年度評価では見直しを指摘されており、休日夜間急病診療所の移設と合わせ、事業を集約することについても協議の余地はあるが、熊毛地区と休日夜間急病診療所との距離及び徳山中央病院医師の疲弊の防止としての役割を担っている側面を考慮すると施策の重要度は高い。慎重に分析、協議をしていく。					
	④	周南地域救急医療対策協議会経費の負担金支払事務 (経常的事務事業)	周南市民	周南保健医療圏での救急医療対策の円滑な実施。	周南保健医療圏での救急医療についての協議会事務局であり、円滑な事業実施のための運営経費。	周南保健医療圏での救急医療についての協議会事務局であり、円滑な事業実施ができた。		0.1		304	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案						
	⑤	救急医療情報提供システム県事業の負担金支払義務 (経常的事務事業)	周南市民	救急医療に必要な医療情報の提供。	「やまぐち医療情報ネット」の運営・維持をサポートすることにより、救急医療に必要な医療情報の提供等による住民サービスの向上を図る。	「やまぐち医療情報ネット」活用により、救急医療に必要な医療情報の提供が効果的に達成された。		0.1		312	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案						
	⑥	病院群輪番制病院運営事業費補助金の交付事務 (経常的事務事業)	周南市を含む近隣住民	二次救急医療体制の確保。	病院群輪番制病院を支援することにより、休日及び夜間における重症患者に対する医療(二次救急医療)を確保する。	病院群輪番制による二次救急医療体制の確保ができた。		0.1		35,334	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				A	改善案						
	⑦	救急勤務医支援事業費補助金の交付事務 (経常的事務事業)	周南市を含む近隣住民	二次救急医療体制の確保。	医療機関へ救急勤務医手当に対する補助金を交付することにより、二次救急医療に携わる医師の処遇改善を促す。	国の事業廃止に伴い、事業を廃止した。		0.05		0	否	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	救急医療対策実施要綱「救急医療施設運営費補助金」対策事業として在宅当番医制、病院群輪番制による診療を実施していたが、平成15・16年度に補助制度が廃止となり、市単独事業として継続実施している。救急勤務医支援事業費補助については、平成25年度で国の事業が廃止となったことに伴い、事業を廃止した。	前年度までの指摘事項	休日歯科診療事業等については、近隣市と運営費等についての調整を進めていく。	指摘事項に対する改善状況	休日歯科診療所運営など近隣市からの負担金については、下松市、光市と協議したが難しく、休日歯科診療所の市民への周知についてお願いしている。
	細事業の課題・問題点	○休日歯科診療所の施設老朽化に伴い、修繕等の費用の増加が想定される。近隣市からも施策維持のための協力が得られるよう協議の必要がある。 ○熊毛地区の休日診療については、受診者数の推移等分析し、制度を検証する必要がある。		事業全体の課題・問題点		○休日歯科診療所の施設老朽化に伴い、修繕等の費用の増加が想定される。近隣市からも施策維持のための協力が得られるよう協議の必要がある。 ○熊毛地区の休日診療については、受診者数の推移等分析し、今後の状況の変化に応じて制度を見直す必要がある。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民の安心安全の観点から救急医療体制の維持・確保は必要であるが、休日歯科診療事業、熊毛地域の休日診療については、見直しの検討が必要である。	改善案	休日歯科診療事業については、近隣市へ運営費の負担等の協力をお願いしていく。 熊毛地区の休日診療については受診者数の推移等分析し、制度を検証していく。
----	---	--	------	---	-----	---

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	市民の安心安全の観点から救急医療体制の維持・確保は必要。休日歯科診療事業については、近隣市へ運営費の負担等の協力をお願いしていく。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード*	500502
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(2)救急医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課 病院管理室	評価者(課長)	中村 幸博	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	471074	事務事業名	介護老人保健施設事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ1 充実した福祉で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ12 高齢者福祉の充実	基本方向	地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者が住み慣れた地域で心豊かに、いきいきと安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)介護サービスの充実			【 高齢者福祉の充実 】	37.10%
	推進施策の展開	介護を必要とする状態となったとき、介護サービスを適切に利用できるよう、 ○新たに「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を導入し、介護サービスの充実を図ります。 ○介護保険事業計画に基づき、必要な施設整備を行います。 ○指導監査を効果的に行うことにより、介護サービスの質の向上を図ります。			25年度市民評価の満足度	
		【 高齢者福祉の充実 】			41.70%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市介護老人保健施設 ゆめ風車	意図(どういう状態にしたい): 経営の健全化を図り、長期的に安定した経営を行いたい。	事業の内容(手段)	企業債の元利償還金のうち、用地取得分の全額及び建物建設分の3分の1を補助金として繰り出す。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	平成26年度周南市介護老人保健施設事業会計の収益的収支は、平成25年度に比べて約15,000千円赤字が増加し、25,972千円の損失となった。入所者・通所利用者共に減少したため、稼働率が目標に達せず、費用増を補えなかった。								直接事業費	千円	44,231	44,231	44,231	44,232
事業目標	目標名	事業会計単年度収益的収支	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	44,231	44,231	44,231	44,232	44,231
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	44,231	44,231		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	85.0	4,075.0	5,785.0	3,103.0	1,728.0		(決算額) うち一財	千円	44,231				
	実績値	-5,554.0	-10,958.0	-25,972.0				正職員人件費	千円	7,325	7,395			
	達成度(%)	98.3%	95.5%	90.8%				人工数	人	1.00	1.00	1.00		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
	①	新規の入所者及び通所利用者の確保による経営改善(施設等管理運営事業)	施設利用者	利用者増による稼働率の向上を推進すること	介護老人保健施設の事業経営改善の達成	新規の入所者・利用者は、前年度比で減少したが、短期入所者は前年度に比べ増加し、地域内(市内)の入所者の割合も増加した。	1		22,115	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 高齢者の家庭復帰を目的とする介護老人保健施設本来の機能を発揮した運営を行っているため、利用者の入院・自宅復帰等の事情の影響を受けやすい。また、近隣同様施設の開業等に影響を受け、稼働率の伸び悩みにより再び収支が悪化している。					B	改善案	当施設を選択していただけるよう、内外のケアマネージャーへの働きかけと連携を強化するほか、市が開催する高齢者対象の講座やCCSの番組等で、施設職員が通所サービスで実施している認知症対策等について紹介を行うなどの利用者の増加を図る。					
②	既存の入所者及び通所利用者の確保による経営改善(施設管理運営事業)	施設利用者	利用者増による稼働率の向上を推進すること	介護老人保健施設の事業経営改善の達成	既存の入所者・利用者の継続は、前年度に比べて増加している。	1		22,116	否	否				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 高齢者の家庭復帰を目的とする介護老人保健施設本来の機能を発揮した運営を行っているため、利用者の入院・自宅復帰等の事情の影響を受けやすい。また、近隣同様施設の開業等に影響を受け、稼働率の伸び悩みにより再び収支が悪化している。					B	改善案	当施設を継続的に利用していただけるよう、利用者満足度の向上を図る。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						
	④												
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	H16年度の開設当初から数年は、入所期間を短く設定していたこともあり稼働率が低く、また介護報酬単価も低く抑えられていたため、事業収支の厳しい状況が続いたが、H21～24年度までは稼働率の向上と介護報酬単価の上昇で赤字額が減少傾向にあった。H25年度からは稼働率の伸び悩みにより再び収支が悪化している。	前年度までの指摘事項	定期的(半期、四半期ごと)に計画の目標値と実績値の比較、及びその差異の要因分析等を綿密に行い、可能な限りの改善策を講じられたい。	指摘事項に対する改善状況	新規の入所者は増加したものの、老健から病院への入院者が増加したため、稼働率が低下した。通所も利用者が目標に達せず、赤字が継続している。
	細事業の課題・問題点	入所・通所の稼働率は、高齢者の家庭復帰を目的とする介護老人保健施設本来の機能を発揮した運営を行っているため、利用者の入院・自宅復帰等の事情の影響を受けやすい。また、近隣同様施設の開業等に影響を受ける。	事業全体の課題・問題点	高齢者に多い疾患に対応し、緊急手術等の可能な病院に併設した施設は、市内西部地域には当施設のみであり、持病を抱える要介護者認定高齢者にとり、当施設の存在は安心・安全を提供しており、今後の需要も継続すると見込んでいる。福祉事業は国の政策の影響を受けやすく、経営が介護報酬単価の変動に大きな影響を受けること、加えて、家庭復帰を目的とした運営を行っているため、利用者の入院や自宅復帰等の個人的な事情の影響を受けやすいことが課題である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	今後の高齢化社会における需要に対応する高機能な施設である。H25年度は入所・通所の利用率は改善したが、事業収支目標は達成出来なかった。今後とも、稼働率向上と共に、費用の節減にも注力して経営改善を図りたい。	改善案	当施設を利用いただけるよう、パンフレットの作成し、内外のケアマネージャーへの働きかけと連携を強化するほか、CCSの番組などで施設サービスの紹介し、新規利用者の獲得を図り、稼働率の改善に努める。また、さらなる経費の節減を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管改善策の着実な実施により、新規利用者確保及び稼働率の改善に取り組む

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500202
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	2高齢者福祉の充実
推進施策	(2)介護サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
要介護度の高い入所者の受入を増やすことで単価を上げ、稼働率の向上と共に、費用の節減にも注力して経営改善を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課 病院管理室	評価者(課長)	中村 幸博	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	593005	事務事業名	市立病院事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	だれもが住み慣れた地域で健やかに生活できるように、地域医療の確保や救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	市民病院の機能の維持			【病院等の医療体制の充実】 40.90%	
	推進施策の展開	・他の医療機関との機能分担や連携を進め、周南市西部地域の中核的医療施設としての機能を維持するため、医療機器・施設の充実を図ります。 ・市民病院の基本理念である「市民に奉仕する医療」に基づき、良質な医療を安定・継続的に提供していきます。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 新南陽市民病院	意図(どういう状態にしたい): 経営の健全化を図り、長期的に安定した経営を行います。	事業の内容(手段)	一般会計から、①救急医療の確保に関する経費②リハビリテーション医療に要する経費③高度医療に要する経費④医師・看護師等職員の研究・研修に要する経費の1/2、⑤医師確保対策に要する経費(派遣職員通勤経費)⑥建設改良に要する経費(借入の元金・利息)(平成14年以前は2/3、平成15年度以降は1/2)を繰出す。	【病院等の医療体制】 50.20%	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	平成26年度周南市病院事業会計の収益的収支は、137,580千円の損失で、平成25年度に比べて約41,000千円赤字が増加した。常勤眼科医、整形外科医各1名の減員が回復していないことに加えて、消費税率改定に伴う実質的な診療報酬単価の引き下げの影響等により医療収益が不足し、赤字となっている。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	386,901	394,463	409,692	411,130		512,245								
事業目標	目標名	事業会計単年度収益的収支	計算式	達成項目/目標項目		単位	%	(予算額) うち一財	千円	386,901	394,463	409,692	411,130	512,245		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	386,901	394,463		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	34,000.0	-70,000.0	96,000.0	121,000.0	84,000.0		正職員人件費	千円	21,975	22,185		企業債償還金分の繰入金の増加によるもの	企業債償還金分の繰入金の増加によるもの		
	実績値	-12,209.0	-96,549.0	-137,580.0				人工数	人	3.00	3.00					
	達成度(%)	98.4%	99.1%	92.3%				支出コスト	千円	決) 408,876	決見) 416,648					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①		病院中期経営プランによる経営改善(施設等管理運営事業)		病院事業の経営改善		病院事業経営改善の達成		医療収益の不足により、病院中期経営プランの目標は達成出来なかった。		3		394,463		否 否	
	②		医師の確保(施設等管理運営事業)		常勤医師が15人から13人に減少している状況を回復すること		医師15人体制の回復		山口大学医学部・県・民間幹旋業者等あらゆる手段で医師を募集したが達成できなかった。		3		-		否 否	
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		診療報酬点数の増減、消費税率等の外部要因に大きな影響を受けること				B 改善案						経営改善を着実に実施する。	
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト ■ その他		地方における医師の不足は国全体の課題であり、募集する医師の給料を高く設定できない問題もあるため、早急な改善は困難であると思われる。				B 改善案						山口大学医学部医局に所属する医師数が増加することを、最も期待している。		

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他										細事業評価
	細事業の課題						改善案					
	④											
	細事業の課題						改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	開業以来山口大学医学部の協力を受け、必要な医師数を確保していたが、H24年度に2名減員した。H27年度には、眼科医1名と腎臓内科医1名を増員できたものの、整形外科医2名と泌尿器科医1名が減員し、医業収益の減少が見込まれるため、地域包括ケア病床を30床に拡大し入院患者の確保を図っている。	前年度までの指摘事項	定期的(半期、四半期ごと)に計画の目標値と実績値の比較、及びその差異の要因分析等を綿密に行い、可能な限りの改善策を講じられたい。	指摘事項に対する改善状況	月ごとに収支を比較検討して経営改善に努めているが、医師減員の影響を補填できず、赤字が継続している。
	細事業の課題・問題点	「病院中期経営プランによる経営改善」及び「医師の確保」とも、診療報酬点数の増減、医師の需給等、国の政策を含めた外部要因に大きな影響を受けている。経営環境に影響を受けにくい収入の増加を図るため、地域包括ケア病床増床や健診事業などの拡大を図る等の経営改善策を模索している。	事業全体の課題・問題点	市民病院の経営の健全化を図るため、病院中期経営プランに沿って経営改善を行いたい。加えて、常勤医師数減など病院事業の経営環境が悪化していることに対して、医業収益を確保するために、H26年度に制度化された地域包括ケア病床を導入しているが、H27年度からはこれを30床に拡大した。今後も段階的に拡大し、より安定的な経営体制を目指す必要があると考える。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	周南医療圏西部の中核的医療施設であり、今後も地域医療の要となる施設である。平成25年度は、病院中期経営プランの事業収支目標を達成出来なかった。医師減員が継続している中で、目標とする経営指標が妥当なものであるか再検討する必要がある。	改善案	地域包括ケア病床の効果的運用を行うとともに、病院中期経営プランの実行、医師の確保により、着実な経営改善の推進を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管改善策のとおり、H27年度30床に設定されている地域包括ケア病床については、関係機関との連携及び受け入れ態勢の確保等に積極的に取り組み、効果的な運用を行うことで、安定した収入の確保を図る。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500504
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(4)市民病院の機能の維持

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
平成27年度から常勤医師が1名減少し、12名体制で診療を行っている中、地域包括ケア病床の活用と共に、一般病床の稼働についても、医師1人当たりの診療する入院患者数を増やす等の経営努力を行うことで、収支均衡を目指すことを計画している。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者(課長)	小野 卓令	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	594005	事務事業名	一般管理事務費	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【病院等の医療体制】	50.20%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 診療所運営の維持・確保が図られ、安心して安全な医療を提供することができる。	事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・その他職員2名(嘱託看護師1名・臨時看護師1名)の報酬及び賃金である。 ・診療受付、診療報酬請求業務委託料である。 ・医師会や山口県国民健康保険団体連合会等の医療関係機関に対する負担金である。 ・診療所管理事務費である。 		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	平成23年7月から須金診療所の診療業務全般を行っており、北部の地域医療の安心安全な医療体制の維持・確保に努めている。 平成26年度は医師の体調不良に伴い不在のとなったことから、診療日の減となっている。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	21,045	22,098	17,918	20,946		20,946						
事業目標	目標名	診療日数	計算式	診療日数	単位	日	(予算額)	うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	19,179	16,421				
	目標値	245.0	244.0	244.0	243.0	244.0	(決算額)	うち一財	千円					
	実績値	245.0	244.0	241.0			正職員人件費	千円	8,058	11,093				
	達成度(%)	100.0%	100.0%	98.8%			人工数	人	1.10	1.50	1.50			
							支出コスト	千円	決) 27,237	決見) 27,514				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	診療業務に伴う一般管理費 (施設等管理運営事業)	周南市民	診療及び受診等の業務を行うための施設設備の維持増進を図る。	外来患者、往診、予防接種及び各種検診等を行い、市民の健康の保持増進を図る。	診療日の減となっているが、須金診療所の診療業務も含め、安定した診療日を確保し、市北部地域の医療体制の維持に努めている。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 医療の安心安全の確保及び患者数の推移を見極めながら、適正な人員の確保に努める。					B	改善案	市北部の施設として保健・福祉及び他の医療機関との連携を図りながら、公設医療機関としての役割を果たすため、須金診療所も含め、安心安全な地域医療体制の維持確保に努める。また、常に事務改善の意識を持ち効率的な運営を進める。					
	②	診療業務に伴う施設管理事務 (施設等管理運営事業)	周南市民	診療及び往診等の業務を行うための施設設備の維持管理業務を行い、市民の健康の保持増進を図る。	外来診療、往診及び各種検診等を行うための各医療機器等保守点検業務・機器等賃貸借業務を行い、市民の健康の保持増進を図る。	各医療機器等保守点検及び賃貸借業務を行うことにより、適正な施設設備の維持管理に努めている。	0.60	0	12,479	可	可			
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし					A	改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④		細事業評価		改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他		細事業評価										
	細事業の課題						改善案						
	④												
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成14年度から医師2人体制であったが、平成20年度から医師1人体制となる。平成21年2月からコアプラザかのに全面移転し6年が経過した。平成23年7月から須金診療所の業務全般を行っている。	前年度までの指摘事項	医師は須金地区の往診・訪問もされており、北部の地域医療に貢献している。今後も事務改善を図りながら、効率的な運営を進めていく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	市北部の施設として保健・福祉及び他の医療機関と連携を図りながら、公的医療機関としての役割を果たすため、須金診療所も含め、安心安全な地域医療体制の維持確保に努める。
	細事業の課題・問題点	右記「事業全体の課題・問題点」のとおり	事業全体の課題・問題点	運営面では地域の安心安全の確保、患者サービスの向上を図るうえから、医師・看護師の適正な人員確保が必要である。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	地域住民の疾病の早期発見・早期治療を実施し、地域医療の増進に寄与するため、また、市北部の地域医療の安心安全の確保を図るうえから、計画通りに事業を進める必要がある。併せて事務改善の意識をもち、効率的な運営を進める。	改善案	市北部の施設として保健・福祉及び他の医療機関との連携を図りながら、公的医療機関としての役割を果たすため、須金診療所も含め、安心安全な地域医療体制の維持確保に努める。また、常に事務改善の意識を持ち効率的な運営を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 地域住民の疾病の早期発見・早期治療を実施し、地域医療の増進に寄与するため、また、市北部の地域医療の安心安全の確保を図るうえから、計画どおりに事業を進める必要がある。併せて事務改善に意識をもち効率的な運営を進める。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
現医師が平成28年3月末で退職の見込みである。医師の公募をするも適材な医師の雇用が見込めない状況にあることから、周南地域の医師に診療の依頼をするために報償金等の予算を計上する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	593011	事務事業名	研究研修一般事務費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】 40.90%	
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
		【病院等の医療体制】 50.20%				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 医師・看護師	意図(どういう状態にしたい): 高度多様化する医療技術に対応するため、職員の資質の向上を図ることにより、的確な医療を提供することができる。	事業の内容 (手段)	・診療所に勤務する医師、看護師として、理解を深め研鑽するための研究研修費である。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	全国国保地域医療学会及び医師会主催の研修会等へ積極的に参加した。高齢者福祉や介護保険サービスなど正しい知識を身につけ業務に役立てるため、引き続き保健師と看護師の合同研修会を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
事業目標	目標名	研修会等参加数	計算式	研修会等参加数	単位	回		直接事業費	千円	271	289	204	220	220
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円					
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		直接事業費	千円	247	121		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	25.0	26.0	28.0				(決算額) うち一財	千円					
	達成度(%)	125.0%	130.0%	140.0%				正職員人件費	千円	2,198	2,219			
							人工数	人	0.30	0.30	0.30			
						支出コスト	千円	決) 2,445	決見) 2,340					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	研究研修一般事務 (経常的事務事業)	医師・看護師	医師・看護師として、理解を深め研鑽することにより、地域医療に関する施策を推進する。	同左	各研修会等へ積極的に参加することにより、職員の資質の向上を図ることができた。医師・看護師と保健師の合同研修会を実施したことにより、相互理解と研鑽を深めることができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.30	0.20	121	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 特になし						細事業評価						
	②							A	改善案					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
								改善案						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題							改善案					
		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	山口県、徳山医師会病院等の関係機関で研修が実施されており、医師・看護師が必要に応じて積極的に参加することとしている。	前年度までの指摘事項	引き続き、医師等の研究研究事業を進める必要がある。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、計画どおりに事業を進めていくとする。
	細事業の課題・問題点	右記「事業全体の課題・問題点」のとおり	事業全体の課題・問題点	現在、医師の学会等の研修で一時的に不在になる場合は、山口県総合医療センターから医師の派遣をしていただき対応しているが、看護師の勤務時間内での研修参加が困難な場合がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	職員の資質の向上を図るうえから、事業を継続することで成果が期待でき、引き続き医師等の研究研修を進める必要がある。	改善案	研修で医師が不足になる場合は、代診派遣の制度を十分に活用することとし、看護師の勤務時間内の研修参加は勤務日程を調整しながら可能な範囲で参加する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
	職員の資質向上を図るうえから、事業を継続することで成果が期待でき、引き続き医師等の研究研修を進める必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
高度化及び多様化する現在の医療技術に対応できる医師及び看護師の育成のため研修などをする。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	593014	事務事業名	医療用機械器具整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。				25年度市民評価の満足度
					【病院等の医療体制】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民		意図(どういう状態にしたい): 診療所の施設設備を計画的に整備することにより、安心して安全な医療を継続して提供することができる。		事業の内容 (手段)	・医療用機械器具の修繕料、賃借料及び簡易医療機器を購入費して医療体制の整備を図り、診療業務の円滑化と市民サービスの向上に努める。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	医療用機械の賃貸借業務及び設置を行う。 〔賃貸〕医療用酸素濃縮器・在宅持続陽圧呼吸療法装置及び全自動血球計数器 汎用分光光度分析機器						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	4,671	5,031	4,638	3,394
事業目標	目標名	対応できなかった患者数	計算式	対応できなかった患者数	単位	人	(予算額) うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,447	2,164		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(決算額) うち一財	千円				患者数の減による	
	実績値	0.0	0.0	0.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.20		
							支出コスト	千円	決) 4,912	決見) 3,643			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト		委託等の可否			
	①	医療用機械器具整備事業 (施設等管理運営事業)	周南市民	医療用機械器具の整備を図り、診療業務の円滑化と市民サービスの向上に努める。	同左	医療用機器等の賃貸借業務及び設置をすることにより、診療業務を円滑に実施することができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							0.20	0	2,164	可	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 患者数の減少により執行額は減であるが、高齢化が進む中、在宅医療の推進を図るうえから在宅医療用機器の維持に努める。					B	改善案	診療に伴う業務であり、今後も引き続き事業を実施することとし、簡易な医療機器の整備は実施計画事業との調整を図りながら計画的に整備していくこととする。				
	②												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	医療用機器等の修繕及び賃貸借業務は診療に伴う業務であり、今後も引き続き事業を実施することとする。		機器の適正な維持管理に努めるとともに、整備については優先順位を付し、計画的に進められたい。
	右記「事業全体の課題・問題点」のとおり	事業全体の課題・問題点	診療に伴う業務であり、今後も引き続き事業を実施するが、機器の適正な維持管理に努め簡易な医療機器の整備は優先順位を付しながら実施計画事業との調整を図り、効率的、計画的に整備していく必要がある。

所管課評価				
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	上記「事業全体の課題・問題点」のとおり、実施方法やコスト等を見直しのうえ継続していく必要がある。 機器の適正な維持管理に努め、簡易な医療機器の整備は優先順位を付しながら実施計画事業との調整を図り効率的、計画的に整備していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	上記「事業全体の課題・問題点」のとおり、実施方法やコスト等を見直しのうえ継続していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
疾病の早期発見のための医療機器の維持と在宅患者への医療機器の貸し付けをし安心の医療提供をする。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	593015	事務事業名	高額医療用機械器具等整備事業費	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	○
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【病院等の医療体制】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 診療所の施設整備を計画的に整備することにより、安心して安全な医療を継続して提供することができる。	事業の内容 (手段)	・実施計画に基づき医療用機械器具の整備を図り、診療業務の円滑化と市民サービスの向上に努める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	[購入]汎用分光光度分析機器						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	0	377	0	0
事業目標	目標名	整備した医療用機械器具数	計算式	整備した医療用機械器具数	単位	台	(予算額) うち一財	千円					
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	0	377		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	(決算額) うち一財	千円				患者の受診件数を考慮し計画する	
	実績値	1.0	0.0	1.0			正職員人件費	千円	1,465	1,479			
	達成度(%)	100.0%	0.0%	100.0%			人工数	人	0.20	0.20	0.20		
							支出コスト	千円	決) 1,465	決見) 1,856			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 高額医療用機械器具等整備事業 (施設等整備事業)		周南市民	高額医療用機械器具等の整備を図り、診療業務の円滑化と市民サービスの向上に努める。	同左	汎用分光光度分析機器導入。血液検査で糖尿病などを把握し、患者への早期治療に向けて健康指導ができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否
	■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価										
	細事業の課題		高額医療用機械器具等の整備については、実施計画及び過疎計画に基づいて実施することから、妥当性・有効性等十分に検討し、計画的に整備する必要がある。										
	②												
細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他											
		細事業評価											
		改善案											

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	高額な医療用機械器具については、国民健康保険調整交付金と過疎対策事業債を財源とした年次計画により整備を進めている。	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおりで、引き続き、財政的に有利な起債等の財源を活用するなど、効率的・計画的な整備に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	実施計画事業であり、今後においても国民健康保険調整交付金と過疎対策事業債を財源とした年次計画により、効率的・計画的に整備を進めていくこととする。
	細事業の課題・問題点	右記「事業全体の課題・問題点」のとおり		事業全体の課題・問題点	高額医療用機械器具の整備については、実施計画及び過疎計画に基づいて実施することから十分に検討し、財政的に有利な起債等の財源を活用するなど、効率的・計画的に整備する必要がある。	

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	上記「事業全体の課題・問題点」のとおり、実施方法やコスト等を考慮しながら継続していく必要がある。	改善案	今後においても国民健康保険特別調整交付金と過疎対策事業債を財源とした年次計画により、効率的・計画的に整備を進めていくこととする。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 上記「事業全体の課題・問題点」のとおり、実施方法やコスト等を考慮しながら継続していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
患者数の減少しており予算計上しない。今後の患者の動向を見据え整備を計画していく。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	593017	事務事業名	医薬品衛生材料整備事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】	40.90%
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【病院等の医療体制】	50.20%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 後発医薬品を含め、安心で信頼のおける医薬品衛生材料の確保・運用を図ることにより、医療費の抑制と患者負担の軽減が図られるとともに、安全で確かな医療を提供することができる。	事業の内容 (手段)	・医薬品衛生材料の整備充実を図り、診療業務の円滑化と患者サービスの向上に努める。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	医薬品及びその他医薬材料を購入した						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	48,240	49,140	46,000	5,293
事業目標	目標名	後発医療薬品使用割合	計算式	後発医療薬品使用割合	単位	%	(予算額)	うち一財	千円				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	44,489	36,522		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	14.0	15.0	15.0	15.0	15.0	(決算額)	うち一財	千円			医療薬を院外処方とすることから減	
	実績値	12.4	11.6	11.2			正職員人件費	千円	10,988	9,614			
	達成度(%)	88.6%	77.3%	74.7%			人工数	人	1.50	1.30	1.30		
							支出コスト	千円	決) 55,477	決見) 46,136			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	① 医薬品衛生材料整備事業 (経常的事務事業)		周南市民	医薬品衛生材料費の整備充実を図り、診療業務の円滑化と患者サービスの向上に努める。	同左	後発医薬品の取扱いについては患者の理解を得ながら推進しているが、その使用割合は伸び悩んでいる。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	可
	②												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 安心で信頼のおける医薬品衛生材料の確保を図り、医療費の抑制と患者負担の軽減を考え、引き続き後発医薬品の切り替えを進め、コスト削減に努めていく必要がある。 今後、院外処方により薬剤師が薬の内容・投与など相互作用のチェックをし患者への薬の使用をより安全に、また医師においても診療に専念できるリットを検討する。				B	改善案	安心で信頼のおける医薬品衛生材料の確保を図り、医療費の抑制と患者の負担の軽減を考え、引き続き後発医薬品の切り替えを進め、コスト削減に努めていく。また院外処方についても検討する。				
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	医薬品衛生材料費の購入払出等は、医療薬品調達基金により管理運用していたが、事務事業の見直しの一環として平成24年3月31日で基金を廃止した。		ジェネリック薬品の使用については、患者の理解を得ながら進め、コストの削減に努められたい。
	右記の「事業全体の課題・問題点」とおり		安心して信頼のおける医薬品衛生材料費の確保を図り、医療費の抑制と患者負担の軽減を考え、引き続き後発医薬品の切り替えを進め、コスト削減に努めていく必要があることや、今後、院外処方により薬剤師が薬の内容・投与など相互作用のチェックをし患者への薬の使用をより安全に、また医師においても診療に専念できるメリットを検討する。

所管課評価			
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	安心して信頼のおける医薬品衛生材料の確保・運用を図り、医療費の抑制と患者負担の軽減を考え、引き続き後発医薬品の使用など効率的な管理運用を図っていく必要がある。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	安心して信頼のおける医薬品衛生材料の確保・運用を図り、医療費の抑制と患者負担の軽減を考え、引き続き後発医薬品の使用など効率的な管理運用を図っていく必要がある。また患者への薬の使用について、より安全性などを考慮し医薬分業の観点から院外処方についても検討すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
医療薬を院外処方とすることで、より適正に管理された医療薬を患者へ提供でき、安心したサービスの向上に繋がる。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部地域医療課	評価者 (課長)	小野 卓令	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	593020	事務事業名	検査解析業務等委託事業費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 03国民健康保険鹿野診療所特別会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ32 地域医療の充実	基本方向	市民の誰もが住み慣れた地域で健やかで生活できるように、地域医療及び救急医療体制の充実を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(1)地域医療体制の充実			【病院等の医療体制の充実】 40.90%	
	推進施策の展開	地域住民が健やかで快適に暮らすためには、医療の充実が最も重要であることから、医師会や関係機関と協力して地域医療の確保を図り、安心して医療サービスが受けられる地域医療体制の維持、確保に努めます。			25年度市民評価の満足度	
					【病院等の医療体制】 50.20%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 信頼のおける専門業者に委託し診療業務の円滑化を図ることにより、地域住民の疾病の早期発見・早期治療を実施することができる。		事業の内容 (手段)	・検査解析業務を委託し、適切な治療に結びつけることにより、患者及び市民サービスの向上に努める。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	診療、検査等の検査解析業務を委託した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	2,815	2,595	2,333	2,336	2,336
事業目標	目標名	検査件数	計算式	検査件数	単位	件	(予算額) うち一財	千円						
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,071	1,566		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	(決算額) うち一財	千円						
	実績値	3,280.0	3,272.0	2,468.0			正職員人件費	千円	5,128	3,698				
	達成度(%)	109.3%	109.1%	82.3%			人工数	人	0.70	0.50	0.50			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 検査解析業務等委託事業 (経常的事務事業)		周南市民	検査業務を委託し適切な治療へ結びつけることにより、診療業務の円滑化と患者サービスの向上に努める。	同左	外来患者の減少に伴い、各検査件数は減である。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	可	
							0.50	0.58	1,566					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 迅速かつ的確に対処できる専門業者の選定及び指導に努める必要がある。				B	改善案	公的医療機関である国保診療施設として、地域住民の疾病の早期発見、早期治療を実施し、地域医療の増進に寄与するため、検査解析業務は信頼のおける業者に委託する。					
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	外来受診者の検体検査や臨床検査・解析等を専門業者に委託している。	前年度までの指摘事項	疾病の早期発見・早期治療を実施するため、引き続き外来受診者の検査解析業務は専門業者に委託していく必要がある。	指摘事項に対する改善状況	迅速かつ的確に対処できる専門業者の選定及び指導に努める。
	細事業の課題・問題点	右記「事業全体の課題・問題点」とおり		事業全体の課題・問題点	公的医療機関である国保診療施設として、地域住民の疾病の早期発見、早期治療を実施し、地域医療の増進に寄与するため、検査解析業務は信頼のおける業者に委託する必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	疾病の早期発見・早期治療を実施するため、引き続き外来受診者の検査解析業務は専門業者に委託していく必要がある。	改善案	採血後、急を要する検査項目については近隣医療機関に委託することとし、迅速かつ的確に対処できる専門業者の選定及び指導に努め、外来患者及び市民サービスの向上に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 疾病の早期発見・早期治療を実施するため、引き続き外来受診者の検査解析業務は専門業者に委託していく必要がある。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500501
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	5地域医療の充実
推進施策	(1)地域医療体制の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
疾病の早期発見、早期治療を実施するために検査委託料を計上する。

備考